



校章の由来

県立三中を意味した三つの剣を組み合わせ、初代大屋校長の考えで剛健・真剣・勤儉の三けん、更に智・仁・勇の三徳を兼ねた象徴として用いられて来た

# 厚高同窓会報

＜第56号＞ 2022年(令和4年) 9月1日(木) 発行  
<http://www.atsukou-dousou.org>

旧制中学卒業者 3,915名  
新制高校卒業者 28,540名  
合 計 32,455名

発行  
神奈川県立厚木高等学校同窓会  
編集  
厚木高等学校同窓会広報委員会  
TEL 046 (221) 4078  
FAX 046 (222) 8243

## 今年創立120周年(明治35年開校)。コロナ禍、記念事業は来年度へ



▲関東大震災により改築された校舎は、昭和2年の落成から41年に新築工事着手するまで使用された。

県立厚木中学校は、昭和23年4月1日、神奈川県立厚木高等学校と改称。翌24年3月に高校第1回卒業式が挙行される。(写真は24年10月の厚高2年生)

◀明治35年(1902年)4月13日、神奈川県第三中学校の開校式挙行。開校当時の遺構として唯一現存する井戸枠。(詳細は本会報13ページ参照)



### 創立120周年 風雪の歴史は 私たちの誇り

同窓会会長 熊坂 隆光(高19回)

三剣はついに120年の歴史の時を刻みました。明治35年(1902年)4月、神奈川県第三中学校として創立された私たちの母校、厚木高等学校は令和4年(2022年)の今年、創立120周年の記念すべき節目を迎えました。明治、大正、昭和、平成そして令和と5つの時代を経た母校の来し方はまさに風雪の歴史と言っても過言ではなく、同窓生の誇りでもあります。戸室の丘辺を巣立っていったのはこれまでに3万2000人余り。先輩の皆様が歩んだ、そしていま私たちが歩んでいる道のりもまた多種多様、さまざまな人生の風雪を積み重ねてきております。こうした歴史の節目の年こそ、本来なら周年記念行事が行われるところですが、コロナ感染症が完全に終息しておらず、残念ながら母校主催による120周年記念式典は来年6月に延期される方向となりました。同窓会の皆様と一堂に会して祝う記念の行事も来年秋になるのではないかと考えております。タイミングは若干ずれませんがそれでも記念式典、行事のための準備が少しずつ動き始めました。同窓会としてはできる限りの支援を行い、母校と一緒に、式典や祝賀行事の盛り上げを図りたいと思います。そして何よりもこれから50年、100年と母校の歴史がさらに隆々と続くことをこの節目に祈りたいと思っております。

同窓会の様々な恒例行事や会議日程も、周年行事と同様、依然としてコロナ禍の影響を受けております。今年度の同窓会総会も昨年同様、書面決議による総会となりました。各地の戸陵会の行事も一部を除き引き続き中止や延期が続いております。やむを得ない措置ではありますが、それでも、最近になってコロナに負けず少しずつ社会を動かしているという空気も強まってまいりました。無理はできませんが、同窓会活動もできる範囲から活性化していきたいと考えております。10月15日(土)には「第17回青春かながわ校歌祭」がよこすか芸術劇場で開かれることになりました。様々な安全対策の下で、これまでより規模を小さくしての開催ですが、3年ぶりの校歌祭です。久々に厚高同窓会ここにありの意気を示していきたいと思っております。



本部活動報告

コロナ前の日常を取り戻し 同窓会活動の活性化を

同窓会会長 熊坂 隆光(高19回)

同窓会会員の皆様には、新型コロナウィルス感染症の蔓延で、様々な社会活動として個人の生活が大きく制約を受けていることと思われま

「コロナ禍」とはよく言ったもので、私たち同窓会にとって最大の行事である令和4年度の通常総会は、まさに残念ながら昨年度に続き書面による開催となりました。一昨年度の総会も限られた役員のみによる諸行事を省略しての総会でしたので、これで3年連続一堂に会しての総会は実現できませんでした。まさに「禍」以外の何物でもありません。

私たちが同窓会も総会こそ開くことはできませんでしたが、コロナ

に負けず、少しずつ活動の輪を広げ、元の日常に戻れるよう努めていきたいと思えます。延期が続いていた「かながわ校歌祭」は10月15日(土)に規模は小さく、なりませんが、開催されると聞いております。それぞれの戸陵会の活動も、役員の皆様が工夫をこらしながら、徐々に元の形を取り戻しつつあると聞いております。頼もしい限りです。

まだまだ予断は許せませんが来年こそは通常通りの形で、皆様と声をからして「相州健児 あゝわが友」と校歌を歌える総会にしたいと願っております。本来なら今年開かれるべき創立120周年の記念行事も延期になっておりま

す。早く実現にこぎつきたいものです。記念行事が開かれる際には、同窓会を挙げて支援をしてまいりたいと考えます。一方、こうしたコロナ禍にもめげず、母校の現役生諸君は、文武両道にわたって着実に成果を上げております。在学中にコロナによる休校や対外活動の制限などがあり、大変心配をいたしてはおりますが、各種クラブ活動はこれまで同様、着実に実績を残してあります。また、この春の大学進学結果も素晴らしいものであったということ

です。私たちが同窓会員にとって、苦難に負けない現役生の頑張りやまことに誇らしいものであります。私たちの同窓会活動の目的は、いままでもなく会員相互の交流・親睦とともに母校の発展への寄与です。同窓会活動をさらに活発にし、これまで以上に母校と後輩諸君の応援を充実させていきたいと思います。書面による通常総会の開催とはなりましたが、改めて役員各位や各地の戸陵会のためにもご努力に敬意を表します。

令和4年度の総会は、事前に開かれた本部役員会で討議した結果、新型コロナ感染症により、書面による総会開催となりました。6月下旬に関係の同窓会員の皆様に議案書をお送りし、議決書を返送していただきました。結果は賛成多数で4つの議案すべてが可決されました。

令和4年度通常総会 昨年度に引き続き 書面による総会

令和4年度の総会は、事前に開かれた本部役員会で討議した結果、新型コロナ感染症により、書面による総会開催となりました。

詳細は、厚木高等学校同窓会HPに掲載されておりますので、ご覧ください。今年度も昨年度に引き続き皆様と一同に会せず残念な形になっております。

高額寄付金納入者について

福田重雄氏(高13回) 三十万円

増田淳一郎氏(高13回) 十万円

ありがとうございます。

同窓会主催、厚木連合戸陵会主管

コロナに負けない! 第7回チャリティゴルフコンペ開催

ゴルフ担当委員長 中山 和男(高26回)

同窓会総会や地区戸陵会総会とは異なり、青春かながわ校歌祭の思い出の日に親しむ会など、主要行事のほとんどが中止になる中、第7回チャリティゴルフコンペ(厚木高等学校同窓会主催、厚木連合戸陵会主管)が令和3年10月18日、本厚木カントリークラブ貸し切りで開催されました。屋外とはいえ感染防止を最優先とし、前年に引き続き「表彰式・パーティーなし」「3人1組」「ハーフコンペ」というコロナに負けない新しいスタイルで行い、108人という大勢のご参加を得て、無事に終了しました。

最年長は4回卒の瀬戸宏孝さん(座間)、最年少は51回卒の高橋健太郎さん(荻野)。その差47歳というのも同窓会コンペならではの賞品ですが、キャディーバッグ、新米、日本酒などのほか、今回は知る人ぞ知るあの懐かしの「ポップ

ラ館珈琲」のコーヒーの詰め合わせ、レンプラントホテル厚木特製のおせち料理(日本料理と中華料理各2点)が新登場!特におせち料理は年末の忘れた頃に届いて、ご家族にとっても喜ばれたそうです。また、厚木戸陵会など12の戸陵連合戸陵会会長ほか3人の個人、熊坂同窓会会長、伊藤前厚木連合戸陵会会長及び本厚木カントリークラブから協賛品をご提供いただき、入賞されなかった皆さまにも賞品をお持ち帰りいただきました。皆さまには、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

なお、参加者の皆さまからお預かりしたチャリティ10万8千円は、母校教育振興のために寄付させていただきます。今年度は10月17日(月)に開催する予定です。各地区戸陵会経由のほか、個人でも申し込みできますので、HPをご確認ください。

令和3年度 事業報告

令和3年

- 4月13日(火) 創立119周年開校記念日
6月12日(土) 本部臨時役員会
6月27日(日) 令和3年度通常総会
7月18日(日) 厚木連合戸陵会総会
10月18日(月) 第7回チャリティゴルフコンペ
11月20日(土) 思い出の日に親しむ会(下列作業のみ実施)

令和4年度 事業計画(案)

令和4年

- 4月13日(水) 創立120周年開校記念日
5月15日(日) 本部役員会
6月11日(土) 伊勢原戸陵会総会
6月26日(日) 令和4年度通常総会
7月16日(土) 本部役員会
10月15日(土) 第17回青春かながわ校歌祭
10月17日(月) 第8回チャリティゴルフコンペ
11月 3日(日) さくら戸陵会総会

創立120年の沿革

- 明治33年 5月20日 文部省告示第152号を以て高座郡海老名村に神奈川県第三中学校設置
34年 3月 1日 文部省告示第48号を以て神奈川県第三中学校は高座郡海老名村から愛甲郡南毛利村に変更の件告示
35年 4月13日 開校式挙行 生徒定員350名 学級数8
40年 3月27日 第1回卒業式挙行
大正 2年 4月 1日 神奈川県立厚木中学校と改称
12年 9月 1日 関東大震災のため博物館と寄宿舎各一棟倒壊 その他校舎に被害甚大
昭和 2年10月13日 校舎の改築落成式挙行
3年11月26日 校旗制定
6年 1月20日 校歌制定(15年4月23日 文部省認可)
23年 4月 1日 神奈川県立厚木高等学校と改称
24年 3月 1日 高校第1回卒業式挙行
27年10月30日 創立50周年記念式挙行 体育館竣工・放送設備完成
32年 4月13日 創立55周年記念式 学校図書館落成式挙行
37年12月15日 創立60周年記念式 戸陵会館落成式挙行
44年11月 1日 校舎新築落成記念式挙行
57年 6月 4日 創立80周年記念式 体育館落成式挙行
平成 4年 6月 6日 創立90周年記念式挙行
14年11月 7日 創立100周年記念式典挙行
24年 9月27日 創立110周年記念式典挙行



優勝した福田氏(左)と會田氏(右)

成績表(競技方法=新ペリア)

Table with columns for 'アウトスタート' and 'インスタート', listing names and scores for various positions like '優勝' (1st), '2位', etc.





表現家として幅広く活躍中

昨秋、本校の卒業生で、漫画家として20年以上活躍し、そのほか作家、音楽家、画家として多方面で才能を発揮しているさかもと未明さん(高36回)が、フランスの伝統ある展覧会の一つ、サロン・ドートンヌ(秋期展覧会の意味)に『洗濯船』という作品で入選した。

この展覧会は、今までに藤田嗣治、東郷青児、佐伯祐三、ヒロ・ヤマガタなどの名だたる日本人画家が入選し、フランス画壇の登竜門ともいわれている。

さかもと未明さんから、受賞に際してお気持ちを寄せていただいた。

広報委員 剣持典子(高26回)

### 死の淵で見出した

### 一筋の光をたどって

### サロン・ドートンヌ入選によせて

さかもと未明(高36回)

「洗濯船」を皆さんはご存じだろうか?パリのモンマルトルにある、ピカソやモディリアーニなどの著名な画家が暮らしたアパートの名前である。1970年代にアパートは焼失し、今はその名を記したショーウインドウがあるのみだが、その前にある広場は、何とも言えない雰囲気

私はいろんな偶然に導かれて、2017年にここを訪れた。以来自分自身で勝手に「運命の土地」と決めて、足しげく通うようになった。

当時は2006年に発症した難病の膠原病がやっと回復期に差し掛かったばかり。2008年に難



サロン・ドートンヌ2021入賞作品『洗濯船』

病認定を受けた時には、「あと5年くらいで寝たきりになるか、死ぬ」と言われ、2013年には死ぬと覚悟した。

幸いその後回復していき、やがて画家として活動を開始。2017年2月に初個展。まだ手足が不自由だったが、6月に先輩画家とパリを訪れた。以来、コロナにもめげず、毎年数回この土地を訪れ、スケッチやラパン・アジルというキャバレーの取材をした。

「サロン・ドートンヌ」という展覧会を知ったのもその取材中だ。あまりに保守的な官展の「サロン」に対抗して、ピカソ等若い画家が立ち上げたのが「サロン・ドートンヌ」。遠い世界と思っていたが、コロナで社会の動き

が止まり、ネットニュースばかり見ていたら、「サロン・ドートンヌ」の広告が飛び込んできた。応募を決めたものの、自信などない。半ば諦めていた半年後に入選の通知。嬉しくて何度も見返した。

応募作は例の「洗濯船」前の広場をテーマにした。広場の中から見上げた冬木

れて互いに腕を組むように重なる生命力を写し取りたかった。見た儘を描くのでは面白くないので、パノラマで写真を撮り、体内に魚眼レンズがあるイメージで捉え直し、四角いキャンパスの平面に収めた。自然に地平線も木の幹も歪んでいく。踊るような生命力の表現として、こげ茶の木や灰色の石畳にいろんな色を配した。そんな工夫が認められたのは嬉しい。でもこれはスタートに過ぎない。

持病もあり、あと何年描けるかなど不安はある。けれど、真剣さでは健康なことに負けることはない。病気はハンディではないとおもっている。誰にもこれからの時間は等価だ。それを活かすも殺すも自分次第、そんな私の今後の活動を見守っていただければ幸いである。



自宅アトリエにて制作中のさかもと画伯

## 第17回 青春かながわ 校歌祭

本年10月15日(土) 正午から、よこすか芸術劇場において第17回青春かながわ校歌祭が開催されます。参加高校同窓会は、新型コロナウイルス感染症の関係で、例年よりも少ない16高校の参加となっております。厚木高等学校同窓会は、参加の予定ですが、予断を許しません。練習会は、9月25日(日)午前10時から、厚木高等学校中庭で行います。





学校情報

本年4月の異動で齋藤麻紀教頭(高42回)が湘南高校教頭として転任され、新たに藤沢清流高校より神橋尚子教頭をお迎えしました。また、本校出身の大塚晃

子先生(高53回、大和東高校)が着任されました。大塚先生には今後同窓会の校内役員としてもご協力いただくことになり

コロナ禍の母校の近況

校長 大沢 利郎



象は、おそらく今の校舎となった50年程前とあまり変わらないと思

後輩の進路状況ですが、引き続き神奈川県の「学力向上進学重点校」の指定を受け、高い進学目標を

公立大学医学部医学科の総数で10名以上が条件ですが、今年はその

実践する取り組みは、周囲からの注目も高く集めているところ

魅力あふれる厚高に着任

教頭 神橋 尚子



今年度着任いたしました。初めまして、よろしくお願いたしました

つポテンシャルの高さには日々驚かされていますが、その期待をそ

では、最終学歴というものにこだわるのが一般的であったように

安心に似た、郷愁を覚えるのです。それは、私自身の母校に対する

湘南台 SHONANDAI Neurosurgery Clinic 脳神経外科クリニック 院長 落合 周太郎 (高36回) TEL.0466-45-5500

ショー歯科医院 院長 歯科医師 新野見 昇一 (高36回) 〒252-0002 座間市小松原1-26-22遠藤ビル1階

扉座 主幹/劇作家・演出家 横内謙介 (高32回) 俳優 岡森 諒 (高32回) 俳優 六角 精児 (高33回) 最後の伝令 菊谷 栄物語 1937 津軽〜浅草

過去5年間の主要大学合格者数

[現役・既卒の合計数 ( )は既卒者] 令和4年4月1日現在

Table with 7 columns: 学校名, 令和4年春, 令和3年春, 令和2年春, 平成31年春, 平成30年春. Rows include 国立 (北海道, 京都, etc.), 公立 (首都大学東京, 横浜市立, etc.), 私立 (青山学院, 神奈川, etc.).

最近5年間の進学状況

Table with 6 columns: 卒業生進路, 令和4年高72回, 令和3年高73回, 令和2年高72回, 平成31年高71回, 平成30年高70回. Rows include 国公立大学, 私立大学, 短期大学, etc.

3年目のご挨拶に代えて



副校長 長瀨 徳克

厚木高等学校副校長の長瀨徳克と申します。着任以来、早3年目を迎えました。思い起こせば、着任した2年前は新型コロナウイルス

スガ日本にもまん延し始めたことにより、学校現場においては未曾有の臨時休業が続く中で、新年度のスタートでした。一方、社会の中では、ステイホームはもとより、これまで対面で行ってきた諸々の活動が軒並み中止を余儀なくされました。その余波を受け、これまで厚木高等学校同窓会の皆さまに直接お会いしてご挨拶をできなかったことを大変心苦しく思っております。

は、本校が常日頃から多くの同窓生の皆様に見守られているということでした。まさにこのことこそ「伝統校の重み」そのものだと実感しております。今年度は厚高創立120周年の大きな節目の年を迎えます。在校生には「伝統校で学ぶ誇り」を少しでも感じてもらうような取組を計画していきたいと考えております。

多くの同窓生の想いに溢れる本校で勤務できたことを私は誇りに思っております。そのために、同窓会と学校を繋ぐ役割を担いながら、厚高生のために日々職務に取り組みたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

『厚高新聞』第269号より抜粋
がうれしい。軽音での活躍を見てもらえたのならありがたい」と述べた。高校に入学したら音楽をやりたいという強い思いがあり、厚高の軽音楽部を知って「勉強も部活もやれる学校だ」と入学を決めた。休校に入り、そこでエレキベアスの猛練習をしたことがよかった。歌詞を書き続けた経験から、大学の文学部に進学して美学芸術学の研究をしたいと考えている。3年間を捧げたエレキベアスは、「もちろん大学でも続けます」と、迷いのない言葉が返ってきた。(嶋田航大さんは、東大・文Ⅲに入学した)



第54回茅賞 軽音「パネンカ」でグランプリ獲得 嶋田 航大さん

浦 恭子税理士事務所
所長 浦 恭子(旧姓:赤津)高36回
〒245-0008 横浜市泉区弥生台6-35
TEL045-811-9332
※税理士業務 行政書士業務対応

七輪炭火 焼肉 味ん味ん
これからも皆様の期待に 応えられるよう努力していきます
株式会社味ん味ん 代表取締役 三上 賀通(高36回)

みひらクリニック
〒242-0023 大和市渋谷4-8-4スカイステーション101
TEL 046-201-2220 FAX 046-201-2221
院長 三平 将彦(高36回)



# 令和3〜4年 部活動ダイジェスト

## 「軽音楽部」

軽音楽部の3年生バンド「パネンカ」が昨年、神奈川県高等学校軽音楽コンテストで二連覇の快挙を成し遂げ、同年8月の和歌山で開催された全国高等学校総合文化祭「総文祭」のステージで演奏。「前年度は新型コロナウイルスにより中止となつてしまつたが、今年度は多くの方の尽力により開催。また顧問の小松先生には1年生の頃から面倒を見てもらい、最後まで私たちに支えてくれた。この夏は感謝に尽きる」と語る。



「軽音楽の甲子園」『We are SNEAKER AGES』では準グランプリを受賞した(グランキューブ大阪)

12月26日に開催された第1回全国高校系音楽部大会「we are SNEAKER AGES」(会場「グランキューブ大阪」)で準グランプリを受賞した。10月末の関東甲信越大会で、歴代最高点となる99点で優勝しての出場。軽音楽の甲子園」とも呼ばれるステージに向け、軽音楽部5グループから特別編成の2年生バンド9人で練習を積んできた。今回演奏したのはコブクロと絢香の「WINDING ROAD」。厚高校舎屋上での練習の様子や大会のもようは、テレビ東京「ぼくらの青春軽音楽部」で放映された。

本年6月5日に開催された全国高校軽音フェスティバル2022で、2年生バンド「凧」が最優秀賞を受賞した。次の目標は、8月の第9回全国軽音楽コンテストで優勝することだという。

10月2日に開催された「USA Japan チアリーダーディング&ダンス学生選手権2021 virtual」(映像審査)の高高校生編成オープン部門にて1位を獲得し、10月末に全国大会に繋がる予選に出場することが決定した。

12月12日に開催された第21回全日本チアダンス選手権大会決勝大会 Cheer Dance 部門高高校生編成において第3位を獲得した。

3月25日に開催されたUSASchool & college Nationals 2022(全国大会) 高校編成 song/Poem Dance 部門で第2位を獲得した。

部長の布施はるかさんは「この大会では『魔王』というテーマに沿ったダンスにすることで、全員が共通認識を持てるようにした。コロナ禍での練習について

「ずっと練習中にマスクをつけていて息苦しさもあったが、それで体力が鍛えられた。マスクがあると表情が見えないため、全員の表情が合わせにくかった」と苦労を語る。

11月14日に神奈川県立武道館で行われた全国高等学校弓道選抜大会県予選に女子団体で出場し、準優勝。

6月3日から5日にかけて行われた令和4年度第66回関東高等学校弓道大会女子個人部の部で4位、女子団体の部でベスト8を受賞した。

9月20日に横浜市三ツ沢公園陸上競技場で行われた第63回神奈川県高等学校新人陸上競技大会において、待鳥紗英さん(2年)が女子400メートル・ハードルで3位入賞(タイム1分5秒96)を果した。

5月の県高校総体では同じ種目で8位入賞だった。「今大会は前回に比べて走力の向上を感じた一方、メンタルの維持が大変だった」と苦労を振り返る。

また、9月25日に行われた同大会の男子走高跳において佐藤颯さん(2年)が8位入賞(記録1メートル85の自己ベスト)。残念ながらあと5cmで関東大会出場を逃した。

6月17日に行われた関東高校陸上競技大会において、佐藤颯さんが走高跳で15位、待鳥紗英さんが400メートル・ハードルで7位を受賞した。

1位を取った感想等では「嬉しい一言に尽きる。山に登ることも含めて、いろんな体験が出来て良かった」「あまり1位をとったという実感が無いが、みんな楽しんでやれたと思う。後輩にも私たちが学んできたことを伝えていきたい」と語った。

昨年12月末に行われた神奈川県高文連の吹奏楽祭において1位を獲得し、2022年夏に開催される全国大会への出場が決定した。実は今大会の1位は厚高吹奏楽部を含めて同率で3校が並んでいた。しかし審査員の採点によって順位が決められ、300点満点中270点と高得点を叩き出した厚高吹奏楽部が見事1位となったもの。

昨年8月4日から6日にかけて和歌山県で開催された全国高等学校総合文化祭(総文祭)の新聞部門に、厚高新聞部から2年生の二名が出場。新型コロナウイルスの感染拡大により部活動が大きく制限される中で開催で、2年生にとつて他校の生徒と交流する初めての機会であり、非常に貴重な経験となったようだ。

新聞部門では全国から集まった新聞部員たちと班を組んで交流新聞の作成をするもの。厚高新聞部の班は和歌山城を訪れ、語り部たちの話を交えながらその歴史と文化について取材。徳川家の居城であったこの城からは和歌山の街を一望でき、その絶景と爽やかな風は、暑い中での取材の疲れを忘れさせてくれるほど美しく、思わず見入ってしまったという。

取材が終わる会場に戻ると紙面の

の作成が始まる。紙面のレイアウトから記事の作成等、全国から集まった班員たちの知恵を借りつつ、これまでの活動で得た知識を紙面に注ぎ込む。宿に戻っても班員とメールで連絡を取りながら、寝る間も惜しんで推敲を重ねる。締め切りの時間が迫る中で何とか新聞を完成できた時の達成感は格別で、会ったばかりの仲間たちと最後までやり遂げた喜びを分かち合えたという。

昨年度の第70回県高校新聞コンクールで27年ぶりの最優秀賞を受賞した『厚高新聞』は本年の第71回同コンクールで優良賞及び私学振興理事賞を受賞し、8月に開催される全国大会への出場を決めた。審査員からは「新聞づくりの基本のつとつた、新聞らしい新聞」と評価された。

卓球部は、昨年の緊急事態宣言中、活動を中止せざるを得なかった。競技の特性上、実践に近い形で練習するには同じ卓球台で同じ球を使った対面での対戦練習をしなければならなかった。宣言が解除された現在は、部活動をする人数を減らして「密」を避けながら練習に取り組んでいる。

部長の川上さんは「オンライン授業期間中も自宅で柔軟体操サーブの練習、ラケットの素振りや実戦のイメージトレーニングを行い、自主練習に励んでいた」と語る。

1月16日に行われた北相地区冬季卓球大会に出場し、女子団体戦で準優勝した。

卓球部は、昨年の緊急事態宣言中、活動を中止せざるを得なかった。競技の特性上、実践に近い形で練習するには同じ卓球台で同じ球を使った対面での対戦練習をしなければならなかった。宣言が解除された現在は、部活動をする人数を減らして「密」を避けながら練習に取り組んでいる。

部長の川上さんは「オンライン授業期間中も自宅で柔軟体操サーブの練習、ラケットの素振りや実戦のイメージトレーニングを行い、自主練習に励んでいた」と語る。

『厚高新聞』第268号(21年10月28日)、第269号(22年3月2日)、第270号(22年7月22日)より

総合電気設備工事  
**眞崎電工株式会社**  
代表取締役 眞崎 和秋 (高22回)  
〒252-0027  
神奈川県座間市座間1-3275  
TEL 046-251-2054  
FAX 046-255-5488  
MAIL mdk@mbe.nifty.com

「おかげさまで55周年」  
大和南林間  
炭火七輪  
**珍満**  
ホルモン  
CHONG MANG  
菊地 努 (高45回)  
営業時間 火~金曜日 17:00~23:00 定休日:月曜日  
土・祝日 16:30~23:00  
日曜日 16:30~22:00  
〒242-0006 大和市南林間2-10-9  
住所 電話 046-275-0590

**OPERA LAND**  
コンサートプロデュース・CD制作  
音楽教室・レンタルレッスンスタジオ  
Facebook 森口賢二公演情報 →  
森口 賢二 (高44回)  
http://operaland.ciao.jp/  
info@operaland.ciao.jp  
住所: 〒186-0002 国立市東1-3-15 国立ダイカンプラザ103



支部会便り

さくら戸陵会

第9回総会の実施

広報委員 剣持 典子(高26回)

令和4年1月16日、アミューあつぎの厚木市民交流プラザにて、さくら戸陵会は第9回総会を役員のみで実施しました。本来ならば会員の皆様にお知らせし、講演会等も実施したいところでしたが、

藤沢戸陵会

大河ドラマにも登場した伊東家のルーツ

幹事長 伊東 一男(高20回)

高校のとき校長室に入ったことがありました。壁に「温故知新」という額が掛かっていました。そのときは古いことを知っても何の役に立たないと、思っていました。歳をとって最近では我が家のルーツを子供に伝えたいと思つていますが、子供は古いことは馬鹿にして何も聞いてくれません。そこで子供以外に伝えて間接的に、子供にも伝わるように思うようになりました。

私は藤沢市用田というところに生まれ住んでいます。昔の伊東家がその神社、および3つのお寺を作ったと言われています(土地

新しい取り組みについて、活発な意見交換がなされました。

さくら戸陵会は、会員相互の親睦を目的とし、総会に合わせて様々な分野で活躍の同窓生の皆さんに、講演その他をしていただいています。会員はいつでも募集しています。厚木高校の女性の卒業生でしたら、どなたでもお待ちしております。

お申し込み、お問合わせは、厚木高校同窓会のホームページ右下的お問い合わせフォームに、「さくら戸陵会への入会又は問い合わせ希望」とお書きいただき送信してください。折り返しご連絡させていただきます。

座間戸陵会

座間支部に参加して交流深まる同期同窓の親睦

幹事 金子せつ子(高18回)

私が座間支部に入れていただきたいと思った発端は、同期の女子から同窓会の相模原支部に私も入っているから入らないかという誘いを受け、同窓会には、それぞれの支部があり、各々がいろいろな活動をしていると初めて知った時でした。住まいは小田急相模原ですがここは座間市と相模原市の市境があり、座間市相模が丘に住む私は入るなら座間支部と考え入会させていただきました。女性が一人もいないという事にチョット気おくれが致しましたが、初参加の懇親会で化学を教えていただいた鈴木茂先生にお目にかかり、私の入会を大変歓迎していただき、教える子にお酌してもらええると思いいしなかつたことを今でもう言っていたらよかったと今でもうれしく思い出されます。

子どもの頃、近所のお医者さん(鈴木先生)に転んで怪我した、風邪ひいた、お腹が変、などと気軽に診ていただけておりました。あの時、母から鈴木先生は「本を書かれたり、うたを作られたりする方でもっとも偉いお人なのよ」と教えられました。私は「ふーん」だったと思います。大人になってから先生が歌人であり、句集も多く出され、また、お医者様をなさりながら、いろいろな文筆活動をなさっている鈴木英夫先生で鈴木

和菓子店 御菓子司 二葉
大正12年創業
営業時間: 9時~17時(日曜定休)
住所: 〒243-0433 海老名市河原町2丁目21-12
電話: 046-231-0458
代表: 大久保 眞見(厚高26期生)

(有) 神山クリーニング店
取締役会長 神山 宏 (高17回)
本店 〒252-0027 座間市座間1-3185-2
TEL: 046-251-0201
FAX: 046-255-2525
携帯: 090-2451-9778
E-mail: kamiyama@tanzawa.or.jp
支店 メガドンキ座間支店・妻田店・エスパティオ下川入店

創業明治十三年
大矢製畳株式会社
代表取締役 大矢 正次 (高14回)
〒252-0027
神奈川県座間市座間1-4188
(座間小学校西側)
TEL 046-251-0032
FAX 046-251-6848



伊勢原戸陵会

雨岳文庫と大畑哲先生

吉水亮太郎(高26回)

雨岳文庫って図書館ですか？とよく質問される。ここは、伊勢原駅から大山行のバスに乗って、東名高速の下をくぐると、すぐに右手に見えてくる由緒ありそうな古民家だ。江戸期最後に建てられた代官屋敷である。雨岳文庫とは、この山口家住宅と2万点に及ぶ歴史資料の総称である。建物内部は、重厚さと精緻さを併せ持つすばらしい。伊勢原市の国登録有形文化財指定第1号である。

それ以上に有名なのは奥の蔵に保存されてある資料である。ここは明治期相州最初にして最大規模の自由民権結社「湘南社」の初代社長、山口左七郎の居宅であり、自由民権運動の貴重な資料が大量に保存されている。この資料によって神奈川県自由民権研究が始まったといってもよいくらい



大畑哲先生

に発展できないかと、先生と縁のあった有志が集まって、まず左七郎が寝起きしていた屋根裏部屋の片づけから始めた。

その後賛同者が増え、当家の山口匡一氏(高5回)も懇願して自由民権の碑をたてる実行委員会として正式に活動を始めた。寄付を募ると、200名近くの方々がご好意を寄せて下さり16年6月5日、盛大に碑の除幕式を行うことができた。碑の表には、「自由は大山の麓より」という先生の言葉が彫られた。この日は同時に資料展、講演会を行った。その後は、公益財団法人雨岳文庫、雨岳民権の会として年に1回、湘南社民権散歩という名称で、大磯、伊勢原、南金目、荻野、秦野、町田など民権運動ゆかりの地を歩く会を企画した。また、講演会を開き、研究者や記者、民権家子孫を招いて、講演やシンポジウムを行った。明治期のオッペケペー節の流れを組む演歌師を呼んで現在の政治を揶揄したこともあった。資料展も行い、日ごろの活動を紹介したり、今まで日の目を見なかつた民権活

動家を掘り起して紹介したりした。最近立ち上げられた全国民権研究グループの連絡会の一員としても活動している。

三橋建設産業(株)

代表取締役 三橋 要(高21回)
一級建築士 一級建設施工管理技士
一級土木施工管理技士

本社/神奈川県伊勢原市田中975
事業部/神奈川県伊勢原市板戸806
TEL 0463-95-1133
FAX 0463-94-2727

同窓3市議の議会活動

会計 館 大樹(高48回)

伊勢原市議会議員となつて10年余、特に廣木会長をはじめとする伊勢原戸陵会の執行部や会員各位には格別のお支えをいただき、おかげさまで充実した日々を過ごせていることにこの場を借りて御礼申し上げます。

今回は厚木高校同窓会に関わる伊勢原市議会の一端について以下ご紹介させていただきます。

日頃、議会での活動では先輩、同僚議員らとあるべき伊勢原市の姿や様々な課題について意見を交わしながら市政の前進を図っています。同じ会派内には小沼富夫議員(高29回)と長嶋一樹議員(高24回)の両先輩がおり、その活躍が自身の励みになっています。小沼先輩は重鎮的な立ち位置や声の大きさを活かすことで議会の方向性に多大な影響力を発揮し、個性派揃いの議員をまとめ上げるなど議会運営の安定や発展に貢献

料展、講演会を行った。その後は、公益財団法人雨岳文庫、雨岳民権の会として年に1回、湘南社民権散歩という名称で、大磯、伊勢原、南金目、荻野、秦野、町田など民権運動ゆかりの地を歩く会を企画した。また、講演会を開き、研究者や記者、民権家子孫を招いて、講演やシンポジウムを行った。明治期のオッペケペー節の流れを組む演歌師を呼んで現在の政治を揶揄したこともあった。資料展も行い、日ごろの活動を紹介したり、今まで日の目を見なかつた民権活



左から長嶋、館、小沼の各市議

株式会社 松本企画

代表取締役 松本 茂(高20回)

〒259-1114
神奈川県伊勢原市高森2-17-6
TEL 0463-95-8668
FAX 0463-95-8670

安 有限会社

秋山安太郎石材

代表取締役 秋山 良次(高27回)

事務所 神奈川県伊勢原市日向576番地
電話 (0463) 95-2490
FAX (0463) 91-4144
工場 (0463) 94-1222

=おかげさまで100年=



秦野戸陵会

相州自由民権運動とファミリーヒストリー

幹事 山本 孝史(高19回)

板垣退助を中心に自由・平等・民権を求める運動は、相州では明治13年頃から国会開設を求める運動に端を発し、県内各地で次々に結社が誕生し盛り上がった。明治17年、松方デフレ政策の結果、農産物価、繭価格も大暴落し、深刻な経済危機に陥った。国民の生活は困窮を極めたが、これに対し藩閥・専制政府は力で言論・集会・結社を激しく弾圧。自由党も解党させられた。この厳しい規制のもと、自由党左派のリーダー大井憲太郎は、朝鮮独立を助けると同時に早期に立憲政治を実現すべく武力蜂起を計画。が、軍資金が不足。そこで非常手段として公金強奪を指示。相州自由党グループに実行させた。明治18年の暮れ、この計



雨岳文庫にある自由民権の碑に彫られた大畑先生の言葉 安在邦夫先生(早稲田大学名誉教授)が揮毫

画は露呈し、失敗に終わる。これが大阪事件である。この事件で私の曾祖父、山本与七と菊田三郎の兄弟は8年と7年の実刑判決を受け、投獄された。 厚高時代の恩師大畑哲先生は相州民権運動の研究者であられることを授業で知った。また、先生は山本・菊田兄弟が高座郡のリーダーであったことも知っておられた。それ以来、自由民権運動・大阪事件の時代背景を知りたいと考えていた。私は現在雨岳文庫民権の会に所属し3年前、高知県を訪ねた。民権の会の多くは厚高の先輩方である。高知で驚いたことは民権運動が歌あり踊りありとお祭りのようであったこと。それに

垣退助曰く「神奈川は民権の砦」といわしめたほどであった。 獄中で健康を害した山本・菊田兄弟は明治35年、黄金井酒造(盛升)さんとの縁で座間の栗原から

綾瀬戸陵会

幼なじみとの再会

副会長 守矢 徹(高30回)

ある小学校の朝会での校長講話です。 皆さんお早うございます。本校の重点目標は「自分で考え、自分の思いを表現できる子」でした。ね。自分のめあてを持つことの大切さについて、何度もお話ししてきましたが、将来の夢をもつことは一番大きなめあてだと思います。図

書室のお薦めの本コーナーを知っていますか。校長先生からのお薦めの本『ステラと未来』(講談社)は、種田陽平という校長先生の小学校からの幼なじみが書いた本です。(中略)この友達は小学生の頃から絵を描く仕事をしたという夢をもっていたのです。そして、現在映画美術監督となって、日本を代表する人となっています。三谷幸喜監督の映画『フラガール』『有頂天ホテル』、ジブリの映画等の作品でも美術監督として活躍しました。(中略)皆さんも種田陽平さんのように、今から将来の夢を考え、そのめあてに向かって諦めずに頑張ってください。



種田陽平氏とともに

七沢温泉に転居し、元湯玉川館を開いた。大畑先生も二、三度来館され、父と親しく話をされていたことを思い出す。



図書室のお薦めの本コーナー

これは自分が綾瀬市の小学校校長として、朝会で子どもたちに向けて話したものです。 幼なじみの種田君(本名種田康幸、高30回)とは子どもの頃は仲良しでしたが、高校卒業(昭和53年)以来会ったこともなく、どんな仕事をしているのかも知らない程でした。しかし、令和元年の綾瀬戸陵会の総会をきっかけに41年ぶりの再会を果たすことができ、胸が熱くなりました。その宴席でいただいた自叙伝の『どこか遠くへ』(小学館)の中に私の名前まで登場してきて驚愕させられました。その時の酒のうまさも忘れられません。小さい頃からの夢を追いかけて、その夢を現実にした幼なじみの種田君のことを誇りに思い、校長講話で話したり、学校の図書室にその本を寄贈したりしました。戸陵会のような同窓会について、今まで消極的に考えていた私でしたが、幼なじみとの再会を契機に、より一層大切にしていきたいと思いました。



種田氏自叙伝の表紙

綾瀬戸陵会総会報告

令和4年度通常総会(役員のみ) 5月15日(日)

大和北京飯店にて開催

令和5年度通常総会予定 5月21日(日)

大和北京飯店にて開催予定

大野歯科医院



院長 大野 真一(高37回) 診療時間 8:00~19:00 なるべく歯を抜かない、削らない! 天然歯の保存に力を入れています

TEL 0463-81-8243

〒257-0035

神奈川県秦野市本町一丁目4番20号

～お酒のご注文は～

(高29回)

小沼酒店

ONUMA LIQUOR STORE

TEL 0463-94-3438

FAX 0463-92-3902

〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-12-14

神奈川県知事登録(10)12573号

有限会社 一伸工業不動産部

代表取締役 村井 良行(高21回)

事務所 〒243-0213

神奈川県厚木市飯山3061番地

電話 046-250-0071

FAX 046-247-1688

携帯 090-3136-3358

Mail info@issin-kogyo.com



相模原戸陵会

令和4年

NHK大河ドラマにて  
以仁王の令旨に忠じた先祖達

福田 弘夫 (高17回)

本年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の武士達は地名を名字にしており、我々厚高高校の卒業生にも、先祖が関係している方々もおられるでしょう。今回は以仁王の令旨に關係した3つの話をまとめてみます。

初めは厚木高校の初代校長大屋八十八郎先生と私の先祖・浜名氏である。平成29年の大河ドラマ「おんな城主直虎」では、戦国大名今川氏と国衆浜名氏の話があらわれた。この浜名氏が、大屋先生の先祖である。昭和27年出版の『大屋先生』にある「浜名氏家系略譜(鈴木光治郎編)によると、大屋氏の先祖は、平清盛を討てとの「以仁王の令旨」に従い死去した源三位入道兵庫頭頼政とある。頼政の墓が平等院の塔頭最勝院にあり、私は偶然見つけた。頼政の子孫が浜名湖に領地を持ち、浜名氏、大屋氏、大矢氏と名乗った。浜名氏一族は戦国大名として、今川氏が滅んだ時に、同様に滅んだ。江戸時代に大屋氏は三河岡崎・本多氏の家臣となり、先生は幕末の元治元(1864)年に東京浅草本多家の屋敷で生まれ、明治17年に東京大学予備門を卒業された。先生は明治35年から大正14年まで厚木中学の校長を勤め、明治39年生まれの私の父の時も校長であった。

次に福田家の先祖は、徳川幕府が編纂した『新編相模国風土記稿』によると、天正18(1590)年に滅んだ小田原北条氏政の家臣・浜名豊後守とある。鎌倉・大巧寺の文書によると、天正3(1575)年後北条氏家臣で、譜代旦那である浜名豊後守時成より寄進を受けたとある。大屋先生の娘・美津子さんは農氏文学で有名な戸室の和田傳氏(中12回)と結婚された。私の父・武夫(中18回)は厚木中学に入学時、和田さんのお宅に下宿し、父は『大屋先生』も購入しているが、先輩の和田さんと先祖の浜名氏について、話をしたことはないようである。

海老名市制50年の歩みを  
共に振り返って

海老名戸陵会

事務局長 鶴指 眞澄 (高15回)

海老名市は、2021(令和3)年11月1日に市制施行50周年を迎えました。コロナ感染防止対策から、記念式典は行われなかったが、各種イベントは中止となったものもあり、無事に終わったことは喜ばしいことだと思えます。

市制施行は、1971(昭和46)年11月1日で、当時の人口は約4万8千人でありましたが、50年後には約13万7千人、約3倍と大幅に増加しました。この増加の主な要因は、交通の利便性にあると思います。海老名駅は県央にあつて、都心にも比較的近く、小田急線・相模線・JR相模線が交差し、圏央道の海老名インターチェンジもあります。

3つ目は愛川町の地域史「館山」である。花上雅男氏(高19回)は令和元年に執筆された『封印された頼朝の軌跡』では、愛川町に残る「頼朝伝説」に注目して、『菅妻鏡』など多くの関係資料を調べ、「石橋山で敗れた頼朝は、真鶴から船で安房へ逃れた」とする定説を覆す大胆な仮説を展開されている。愛川町では館山は田代富士と呼ばれ、頼朝が館山に逃げて来た時に、助けた人々に、花上、萩田、成井

というゆかりの名前を与えたと伝えられている。『皇国地誌残稿』によると「建久2(1191)年源頼朝願にて海老名季貞に命じて八管神社堂宇、社殿を再建し、大日堂を建立す」とあり、頼朝の館山での潜伏と、後の八管山の再建を一体化した出来事としてとらえているようだ。

私たちは、皆様が自分の望む場所で、望む生活を続けることをサポートする在宅診療専門のクリニックです。  
**みその生活支援クリニック**  
Life Support Clinic  
在宅診療・緩和医療・内科  
院長 小野沢 滋 (高34回)  
〒252-0317 神奈川県相模原市南区御園4-15-10  
http://misono-life-support.com  
Tel. 042-765-1331



およそ50年前の有馬小学校分校 (提供・山崎広報委員)

希土類磁石(レアアース)の製造及び販売  
NEOFLUX  
**株式会社 相模化学金属**  
SAGAMI CHEMICAL METAL CO.,LTD  
代表取締役 福田重男 (高13回)  
〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3丁目12番18号  
TEL: 042-773-2626(代)  
FAX: 042-772-0099

**株式会社 K & E**  
代表 山口 悦 男 (高17回)  
◎着付、美容全般  
☆美容室 フィットン・チッド 縮毛矯正専門店  
〒228-0814 相模原市南区南台3-1-27 コナミスポーツ1F TEL 042-741-1033  
☆ヘアースタジオ R  
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央23-22 TEL-FAX 045-944-2124  
☆ヘアースタジオ おしゃれ泥棒  
〒194-0011 町田市成瀬ヶ丘2-25-8 TEL-FAX 042-795-1939



愛川戸陵会

写真報告 『憶い出の杜』の現況

広報委員 大貫 洋 (高25回)



△昨年11月の植樹  
昨年11月に熊坂会長他本部役員共々『憶い出の杜』に植樹した「ハナモモ」



△総会資料発送準備  
令和4年度の愛川戸陵会総会は、続くコロナ禍の現況を鑑み5月7日の役員会において3年連続となる書面総会と決し、会員への総会資料配布の準備をしました。



△車両乗入禁止看板  
『憶い出の杜』に車を乗入れる方がいるため、「車両乗入禁止」の看板を立てて出入口斜面の崩壊防止対策をしました。



△ハナモモの成長  
「ハナモモ」の様子を観察しました。食害防止柵の効果もあり順調に生育しています。

津久井戸陵会

紙上懇談会で深める絆

会長 菅野 敬子 (高18回)



送付されたアンケート

私達にとってこの2年余り、コロナという前代未聞、最強のウイルスに、世界中の人々が生命の危険はもとより生活も経済も狂わせられ、会社の業務やサークルの会議、そして教育までもがリモートで行われる等々、様々な人に関する環境の形態が変わろうとしている現状を鑑みると、益々人間関係が希薄になっていきほしくないかと危惧の念を抱きます。

津久井戸陵会においてもご多分にもれることなく、コロナ感染予防重視の観点から、今年度を含む計3回の総会及び懇親会の中止を余儀無くされたことは、誠に残念でなりません。そこで、津久井戸陵会の誇れる特徴でもある親しみのある人と人との話の輪の絆をこんな状況下、ささやかであっても保持していけたらと今できる策を弄し、一方通行ではありませんが、紙上懇談会と銘打っての近況報告を会員の方々に届けたいと思いました。

総会及び懇親会中止通知を往復書簡にし、返信欄に各々の近況を綴っていただきたく送付いたしましたところ、19名の方々が返信下さいましたので、お一人お一人の顔を思い浮かべつつまとめ、厚高同窓会会報を同封してお届けいたしました。

返信の有無に限らず皆様には喜んでいただけたのではと思っております。

来年度こそは、コロナ禍も収束して無事総会及び懇親会が開催された折りに、「こんなことあんなことあったよ」と、この紙上懇談会も看に笑いながら楽しい会話が弾むことを強く念じながら、筆を走らせました。どうぞ、その時を楽しみにお待ちしております。

再生可能エネルギー事業



マグメディカ株式会社

代表取締役 福田重男 (高13回) 顧問 落合重治 (高13回)

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3丁目12番18号 (ハケの原工業団地内) 電話042-773-2626(代)



小鮎戸陵会

コロナ禍における地域活動

監事 遠藤 美行(高15回)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会活動の自粛等により各地域の行事や活動の中止が相次いでいます。小鮎戸陵会においても同様に活動が停滞している状況です。
新型コロナウイルスの感染拡大に加え、最近の世界情勢の変動等により人々の心に不安感が積み重なり、閉塞感漂う社会環境が2年半続いています。社会生活は大きく変化し、企業や学校におけるテレワークやオンライン教育などが取り入れられ個人個人がモニ



地域の日枝老人クラブと共に活動

ターを介しての活動に変わってきています。
このような状況の中、私たち小鮎戸陵会の活動をどこに求めていくべきか、考えなければならぬ時かと思われまふ。
今、社会の中で危惧されること

の一つに、マスク生活や集団での活動の制限などにより、人と人との触れ合う機会が大きく減少し、特に子供たちへの影響が大きく、社会を見る目や自然を見る目、そして人と言葉を交わす機会等が減り、心と体を成長させる最も大切な時期が失われているような気がします。また、高齢者にとっては同様な環境により孤独感を招くフレイク現象に繋がり、心身への大きな影響が社会問題となってきました。

このような社会状況の中、今こそ地域の人々の繋がりを強め、社会活動の活性化を図る必要が求められるのではないのでしょうか。幸い地元の小鮎戸地区においては小鮎戸陵会として、小島富司会長(高18回)のもと、元会長や会員がリーダーシップを発揮し、地域の活性化を図るべく観光開発、農園業、福祉事業等を積極的に推進するとともに、子供たちの見守り、健全育成会との協力による大人と子供たちとの触れ合いの場づくり、そして高齢者へは声掛けや戸外へ一歩踏み出す誘い等により前向きに生きる力を持つよう後押しを行なっています。

観光開発は美しい季節の変化を作りあげ、地域の人々の交流、触れ合いの場ともなっています。また、小鮎戸地区へ訪れる人に足を止めていただき、故郷を思い起こす風景を味わっていただいています。
コロナウイルスとの戦いはまだ

まだ続き、収束までは数年かかると思われまふ。
小鮎戸陵会としては、今まで培ってきたノウハウ、持てる力を

地域の中に還元して、明るい希望のある社会を目指すとともに、失われつつある故郷を取り戻すべく取り組んでいきたいと思ひます。

荻野戸陵会

元薬物乱用防止指導員のひとり言

顧問 三平 明彦(高14回)

「薬物乱用防止指導員協議会」の存在をご存知でしょうか？漠然とした認識の人が多いかと思ひます。私は、平成17年から16年間、神奈川県薬物指導員協議会厚木支部で活動してきました。その中で感じたことは、薬物指導員の活動は守秘義務の中での仕事であり、できるだけ世間の目に触れないような活動を心がけているために、一般の方々に印象が薄くその存在を知られていないことです。

「薬物乱用防止対策運動」『ダメ。ゼッタイ。』を発展・成功させるには、官民一体となった協力体制と一般の方々のご理解が必要だと思われまふ。従って、理解を深めていただくために神奈川県薬物乱用防止指導員協議会と最近の薬物乱用問題の現状を述べてみます。
薬物指導員は県知事から委嘱を受け、同協議会の各支部に属して活動します。同協議会は神奈川県薬務課が所管しています。因みに厚木支部は、厚木市・座間市・海老名市・愛川町・清川村を担当地区として、令和4年度は22名の薬物指導員で構成されています。
平成4年10月28日に「薬物ク

リンかながわ推進会議」が設立されました。同協議会は同推進会議の中心的団体であり、県民一体となった薬物乱用防止運動を展開し、不正薬物の存在しない、不正薬物の進入を許さない「薬物ク

神奈川県内の令和3年中の薬物情勢は、神奈川県警察の資料によると県内の検挙者人員が1136人に対して大麻取締法の検挙者が567人(50%)であり、一方、年齢別の29歳以下の大麻取締法違反状況は70%を占めています。この資料より若者の大麻取締法違反が急増していることが読み取れます。問題はSNSなどで「大麻は害がない」などの偽情報が広まり、それを信じて大麻に手を出し、検挙される人が急増していることです。『ダメ。ゼッタイ。』運動を発展・成功させるため、なぜ薬物乱用が増加する環境かを考えて、できるだけ多くの人に関心を持っていただきたいと思います。

つるくぼ 耳鼻咽喉科
日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪 一行(高26回)
〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

株式会社 肉の田口
厚木市水引1-15-12 046-221-0822
年中無休 営業時間AM10:00~PM7:00
炭火焼 ホルモン カルビ焼 焼肉の田口
飯山店 厚木市飯山1093-4 Tel. 046-242-1529
恩名店 厚木市恩名2-6-5 Tel. 046-244-5629
下今泉店 海老名市下今泉3-1-3 Tel. 046-206-4970
代表取締役社長 田口 幸一(高29回)

“本物志向の金物店”
建築金物・家族金物・工具・刃物
(有)足立原商店
代表取締役 足立原 強(高16回)
神奈川県厚木市水引1丁目1番2号
TEL 046-221-1059
FAX 046-221-1259



依知戸陵会

鐘ヶ嶽に登りました

会長 大塚 定男(高20回)

もはや恒例になった(?) 依知戸陵会主催の登山ですが、今年もやりました。

今回は丹沢東部に位置する鐘ヶ嶽です。標高は同じくらいで、若い女性が普段着で登るといふ高尾山ほど知名度はありませんが、気にしない。我々は今流行の「低山登山」をしているのです。うれし

本は東海上に通り過ぎていったその日の朝、我々は広沢寺温泉の駐車場に集合し、9時頃から山に登り始めました。時間が経つに連れ天気は上々、朝までの大雨の爪痕もなく、快適に登ることができました。2時間近く登ったビューポイントでお茶を飲み、お菓子を食べながら休憩。そこから見た景色は素晴らしいものでした。山頂までの長い階段を登りきり、すぐに下山開始、途中の紅葉を愛でながらの下りでした。駐車場到着は12時40分。広沢寺



鐘ヶ嶽にて

温泉でゆっくり風呂に浸かり、予約しておいたコース料理をいただき(コロナの規制が解除されたのでビールも。ただし運転手はノンアルで恐縮)。自宅に帰りました。個人的には、今回は少し事前に鍛えておいたこともあって、途中脱落することもなく、無事に帰つてくる事ができて良かったです。これからも皆の足手まといにならないように頑張りたいと思います。懲りずに参加していただいた皆さん、また、企画運営担当ゆえに豪雨でたいへん気を採られたであろう鈴木正次事務局長(高20回)にお礼を申し上げます。

南毛利戸陵会

開校当時の井戸枳

内藤 佳康(高19回)

我が厚木高校の開校の歩みは、『神奈川県立第三中学校 創立略史』に詳しく紹介されています。明治32年12月県会は第三中学校新設の建議がされ、文部省により翌33年第三中学校を高座郡海老名村に設置し35年3月より開校することが告示されました。しかし愛甲郡内では、原田千之介愛甲郡郡長や地元有志者が愛甲郡への開校を強く要望し、懸命の努力を重ねました。誘致には、校地およそ2町歩や寄付金の確保も必要でした。明治34年2月17日、県知事一行が来郡し、敷地検分をし、更に敷地内から井水の湧水が求められました。前記『創立略史』には、直ちに夜を徹して掘削せしめたるに、同18日午前7時に至り、其の水脈混々噴出せるを認め、県庁に電報する、と記しています。戸室は高丘であり、学校生活に必要な用水の確保が最も重要視されたので

海老名村と愛甲郡との校地決定については、双方で綱引きが行われましたが、漸く明治34年3月12日、文部省告示をもって神奈川県立第三中学校の位置は愛甲郡南毛利村へと改められました。こうして学校建設が3月15日より開始され、翌明治35年4月13日に開校式を挙



正門内の左側に今も残る開校当時の井戸枳

玉川・森の里戸陵会

すべてが止まった2年間

広報委員 梶山 光男(高22回)

支部の活動報告にあたって、筆が止まってしまふ。

55号では、広報委員として初めての寄稿でしたので、地区紹介を活動報告に代えさせていた。56号にあたって、久しぶりの支部役員会でも寄稿するような内容がありませんでした。理由は、旧年度の事業報告、会計報告等すべてが「なし」でした。いずれの支部でも同様な傾向であることが推察されます。

また、このようなことは、様々な団体でいえることではないでしょうか。いくつかの団体と関わりがありますが、多くの活動が密を避けるためなど中止を余儀なく

されています。感染症対策として無理のない判断だと思えますが、会員として社会の一線から距離を置くようになった方々にとつては家庭内に閉じ籠もることによって孤独に陥り、精神的な病にもなりかねません。本会のように会員相互の交流も目的の一つである団体にとつては、会の存続にも関わる問題とも思えます。新規会員の増加同様、大きな課題の発生といわざるを得ません。私たちの支部でも話題となりました。ある会員の健康が話題にのぼりました。そこで、こうした感

染症の中、可能な活動はないのか。難しい課題です。出た答えは、会員全員を対象にはすることは基本ですが、ミニ集会的な活動もありか。少しでも交流の場、コミュニケーションの場を設けよう。今年度の活動計画が考えられませんでした。行事を提案し、無理のない有志での参加で実施する。具体的には、地区散策、B・B・Qなど候補にあがりました。実施できるかどうかは感染症の状況任せ。ただ、前向きな姿勢は堅持していくことにしました。一般社会でも社員旅行、期にあった反省会、懇親会など職場を離れた同士の交流会はここ数年は実施されていないという。この春、新人社員との交流も職場だけだという。コロナは、働き方や生活様式をも大きく変えている。

認定こども園 厚木田園幼稚園
でんえんナーサリー ぴかーぶー
でんえん保育ルーム ぽかぽか
「のびのびようちえん・でんえん」を合言葉に「認定こども園」として子育て支援をしています。
学校法人 厚木田園学園
(高24回) 小澤俊通
〒243-0211 厚木市三田1303 TEL.046-223-7543

麺や食堂グループ
蔵味噌らーめん 晴っぴ
さんさ食 堂製麺
メりケン 餃子三寶
生餃 晴れパン
はっぴ商店 唐揚げ
キミとホイップ
(株) SANTA CALA 望月 治男(高16回)

教科書
(有)内田屋書房
☎046-258-6722
代表取締役 内田 喜康(高13回)
■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F
■東京農大厚木キャンパス店



睦合戸陵会

「地域共生社会の実現に向けて」を重点に

広報委員 永井 明 (高30回)

厚木市妻田で地区活動支援センター・白根工房という小さな福祉事業所を運営しています。馴染みのない事業名かと思いますが以前は「地域作業所」という名前で広く全国で展開されていました。知的障がいのある14名の利用者さんが畑作業や自主製品作り、レク、

作業所ですが、多くは就労系の支援事業(就労移行、就労継続A型・B型等)に移行しました。支援の中心は作業工賃を少しでも多く出していくことに努力するというのが特徴です。それに比べ私どもの地域活動支援センターは、地域の力で、多くの方々に支えられながら障がいのある方の社会参加や居場所づくり、役割づくりなど、生きがいを求めていけるよう、地域の活動に協力したり、事業所に地帯の方を招いて交流したり、障がいのある方が地域の中で理解され、て生きられるよう支援していくことが特徴だと思えます。

『地域共生社会』という言葉がいろいろな場所できばれていますが、障がいだけでなく、引きこもりや生活困窮等、また親御さんが高齢化により様々な課題が複雑に絡み合う現状も社会問題となつていきます。これらの解決に向けては地域の多くの人々の支え合いが大きな力になると感じています。地域共生社会という難しい言葉にも感じられますが、シンプルにです。地域で障がいのある方が様々な活動に参加し、多くの人とふれあい、彼らが安心して生きられる、そういう、文字通り地域で共に生きることを地道に進めてい

くことが重要だと強く感じます。睦合戸陵会の皆様、地域の民生委員の方々、またそのOBOGの方多くの方に支えられ生活できることは利用者さんにとって本当に幸せなことです。コロナ禍の2年間、多くの行事が中止となり、それでも我慢して我慢してマスクをし、毎日検温消毒、手洗いと本当にがんばって、誰も発熱もせず過ごしてきました。地域の方から「がんばってるね」と声をかけていただくことが何より嬉しい。利用者の笑顔で溢れる日々が戻ってくるよう私達支援者も努めていかねば、と思えます。

OB・OG会/同期会便り

弁論部OB会から母校へ寄付

広報委員 剣持 典子 (高26回)

明治37(1903)年から平成9(1997)年までの93年間にわたって活動し、厚木高校に数多くの優勝をもたらした弁論部のOB会戸陵雄弁会会長足立原泰氏(高12回)から、同窓会会長熊坂隆光氏(高19回)弁論部OBに、令和3(2021)年11月6日、OB会会費665,208円が寄付され、そのまま同額が部活動支援基金として同窓会長から厚木高校大沢利郎校長に手渡された。

練習の成果が 全国で連続最優秀に輝く

『戸陵百年の歩み』より

弁論部は明治37年、談話部としてスタート(元外務大臣故岡崎勝男氏も活躍)。大正2年弁論部と改称。昭和元年学芸部に編入、元の談話部と改名。昭和20年学芸部から独立。昭和24年正月、故足立原茂徳氏着任の日に生徒が顧問を求めて来たというエピソードもあり、ダッチちゃん

の愛称で親しまれ、昭和36年7月まで顧問、元厚木市長、中32回を顧問に迎えて第一歩を踏み出しました。高3回の室田、小森、関山らが礎



左から大沢利郎校長、熊坂隆光同窓会会長、足立原泰戸陵雄弁会会長

を築きました青年としてのあり方、生き方や社会とのかかわり方などについて討論し、思索・思想を深める活動が積み重ねられ、昭和26年、東海高校主催、第5回全国高校優勝弁論大会で山口宗平(高5回)が優勝。厚高弁論部の名を全国にどどころかせました。山口が帰って来た時、全校生徒が本厚木駅前に整列して迎えるほどの快挙だった。昭和29年、第1回文部大臣旗全国高等学校弁論大会で和田春吉(高7回)が優勝、桜井昇(高9回)が第2回、第3回と連続して優勝。三連覇の偉

業を成し遂げ、市内パレードを繰り広げ歓喜に沸いた。昭和33年養輪昭司(高11回)、昭和46年有馬雅人(高24回)、昭和56年、57年は佐藤貴子(高35回)が連続して優勝し、創立80周年記念に花を添えました。この他の全国大会でも最優秀を70有余獲得し輝かしい実績を残しました。また、県下の大会でも昭和25年の第2回県下高校弁論大会(真央学生雄弁連盟主催で室田元昭が優勝)以来、53回のうち29回最優秀を獲得する活躍ぶりでした。

ところが、昭和60年代から平成年代にかけて徐々に部員数が減少し、平成3年には部消滅の危機が訪れ、辛うじて入部者を維持しつつ、活動が続ききました。しかし遂に、平成9年度には休部となり、現在に至っています。

創部以来、活動の基盤は、討論、原稿批判、声量・発声、登壇練習などにありました。孤塚での発声練習は今ではとても想像もできない厳しものでした。また、合宿と寒稽古は文化部の活動としては異彩を

放っていました。合宿は、昭和40年初めまでは、夏休み中に約1週間校内で行いました。昭和40年代の中頃からは宿泊をしない通い合宿。参加者は、部員のみならず、先輩も加わり、大学生から社会人までが来てくれ、そのうち4~5名は期間中、部員と寝食を共にして原稿作成や技術面で熱心かつ厳しい指導でした。講演や討論会も行われ、民謡の練習もあり、最終日には弁論大会(即席弁論も)と反省会が行われて合宿が終了するのでした。寒稽古は、寒中の1週間、早朝から柔道場で正座し、主に発声の練習をしました。駅伝をして体力の増進も図り、最終日には汁粉大会が催され和やかなひとときもありました。この寒稽古も昭和40年代初めまで続いたようです。

イトウスポーツ
代表取締役 伊藤修治 (高17回)
〒243-0018 神奈川県厚木市中町2-2-22 2F
TEL 046(223)3458・(224)9397

葉山法律事務所
所長・弁護士 葉山 岳夫 (高7回)
神奈川県弁護士会所属
〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-10
アイディーコート本厚木シティゲート201号
電話 046(297)3415 FAX 046(297)3416
メールアドレス hayama\_law@king.odn.ne.jp

有限会社林写真商会
取締役 足立原 正久 (高17回)



# 吹奏楽部草創期の寸景

平川 貞夫 (高10回)

私は愛甲郡中津村(現愛川町中津)出身、昭和30(1955)年入学の高10回生です。在学中の思い出は、やはり部活動です。創部8年目の吹奏楽部へ入部しました。(吹8期)。きっかけは、中津中学3年の秋、村民体育大会で演奏された厚木高校吹奏楽部のトランペットの音色に魅せられてしまったからです。



昭和32年の体育祭の時に撮影した吹奏楽部

今や立派に成長されたO.B.O.G. 現役の皆さんからみれば、全くの弱小バンドでしたが、楽器に親しみ合奏を喜びとする仲間たちの、草創期の様子を記してみます。入部して与えられたのがコルネット、希望のトランペットを小型にした楽器。小柄な私は幸運

でした。楽器はその人の体格によっても決まるようで、同期でやはり小柄な清田博君もピッコロに挑戦中、恰幅の良かった山田徳夫君にはユーフォニウムが。大柄だったT・K君は「お前は唇が厚いから管楽器はムリ、打楽器だ」なんて言われたとか。彼は後に応援団幹部としても貢献しました。1年生の秋、第10回国体が神奈川県で開催され、その開・閉会式で演奏したのが嬉しい思い出の一つです。我が厚高は横浜北プロックの一員として神奈川県立武相高校、六角橋中学校と合同で演奏し、会場の三ツ沢競技場での行進に華を添えたのでした。曲目は本県ゆかりの唱歌「箱根八里」と「鎌倉」を行進曲風にアレンジしたものでした。

2年生の時の昭和31年5月7日、全国高校弁論大会3年連続最優秀賞受賞を祝って、厚木市内をパレードしました。当時の我が部は、3年生2名、我々2年生9名、1年生10名ほどの小編成。しかも演奏可能な行進曲は2曲だけ。なんとも心細い状況でした。

午後1時半、戸室ヶ丘の校門を出発。プラカード、応援団旗、文部大臣旗を手にした2年連続最優秀賞の3年生・井上晃さん(現姓桜井)を先頭に弁論部員が続ぎ、我々ブラスバンドは700余名の在校生を先導して厚木神社まで行進。午後3時40分、無事に解散した(厚高新聞縮刷版、昭31・6・1発行31号より要約)。

演奏を終わった私たちは、弁論部顧問の足立原茂徳先生(後の厚木市長)のご厚意で、近くの先生のお宅で休憩させていただきました。その時ご馳走になった真っ白なアイスクリームの美味(うまかったことは忘れられません)。

当日パレードで弁論部員として盾を持って前列で行進した、同期生の平片勝美君は「厚高弁論部の絶頂期を象徴する行事に参加できたことは、私にとって人生の宝物だった」と述懐していました。なお、当日の主役・井上さんは、平成30年10月10日に永眠されておられたことを知り、謹んで哀悼の意を表します。

手持ちの厚高吹奏楽部O.B.会報第3号に寄せられた、米山定志氏(吹6期生、入部時の部長)の手記には、創部6年目の様子を良く知ることが出来ます。一部引用させていただきます。

まず、部室に裸のまま並べられていた楽器の収納ケース造り。厚木の街の建具屋さんに作ってもらった木箱に黒色のラシヤ紙で表装、演奏に出かける際にも役立ちました。また、不具合な管楽器を修理するために都内を探し回り、やっと紹介された修理屋へ夏休みは、数本かついでは通いました。

本格的な指導者として、秦野市在住で当時武蔵野音大助教授の加藤正二先生を迎えることになりました。音楽担当講師の久保守先生の紹介によるもので、29年9月から引き受けてくださいました。私たち吹8期生もインパクトある指導を受けています。

当然ながら、講師料を確保する必要があります。夏休みを利用して、部員一同でアルバイトをする事になりました。仕事は厚木基地から払い下げた軍需物資の梱包板わくの解体とクギ抜きで、暑い中、砂利道の国道246号を全員自転車基地近くの現場へ通いました。慣れない中腰での作業に、大型ボールを持つ手をマメだらけにして腰痛にもめげず、一同真剣に取り組み、目標を達成したのでした。

加藤先生の厳しく本格的な指導によって、その年の11月初めて「北相音楽会」に出場できました(吹奏楽部門では厚高1校のみ)。29年度に新設された第1回戸陵賞には、めざましい活動のあったクラブとして表彰されました。その翌年には県の吹奏楽連盟にも加盟、県立音楽堂落成記念演奏会出場、神奈川県開閉会式での演奏にも参加するなど活動範囲も拡大してきました。その間近隣の中学校に出掛けては部員確保のためと、吹奏楽そのもののアップに努めたのでした(私の出身地中津村での演奏もこの年でした)。なお、私たち8期生も夏休みに座間基地でペンキ塗りのバイト、32年度戸陵賞を受賞。

先輩方は日常の練習はもとより、学校祭にも援助を惜しまず駆けつけてくれました。豊島孝明氏(吹3)・井上弘平氏(吹4)・佐野弘氏(吹5)・高橋清氏(吹5)・高柳雅人氏(吹6)・故梶田尚令氏(吹7)の皆様には、紙上にてお礼申し上げます。

昭和23年、ハナ肇とクレージー



第49回大会 (令和4年3月23日本厚木CC)

母校厚木高校を昭和36年3月に卒業した今年80歳を迎える元気なゴルフメンバードです。

平成14年4月に還暦を迎え、会社勤務も順調、会社経営も順調、そんな仲間ゴルフをやる、そんな呼びかけで、第1回は本厚木CCで実施、参加メンバー24名で6組と大人数でした。年を重ねるとだんだんメンバーが減少して平成24年4月は16名位になって、令和4年3月23日第49回本厚木CCではコロナ禍もあり、7名となりました。第50回記念は中津川CCで開催予定です。是非とも4組16名位の参加メンバーを考えておきます。

高13回生の「厚高36会」第50回ゴルフコンペを開催予定

平塚戸陵会会長 落合 重治 (高13回)

キャッツで活躍された安田伸さん(高3回)によって創設されたのが我が厚高吹奏楽部です。安田さんは平成8年11月5日に逝去され、11日に中野区の宝仙寺で葬儀・告別式が行われました。たまたま西新宿に事務所があった私は、出棺を見届けることが出来ました。葬送の曲として谷啓さんの「トロンボーンで奏でられたのが「モーツァルトの子守歌」でした。タレントではなく、ひとりの音楽家としての安田さんにふさわしい曲だと、しみじみ感じたひと時でした。眠れよい子よと。

ITで笑顔を創造する

アイフォーコム®  
IFORCOM

代表取締役 加川広志  
(高25卒 津久井戸陵会 フェンシング部)



同窓会本部役員・理事・支部役員 (令和4年8月1日現在)

【同窓会本部役員】

- 会長 熊坂 隆光 (高19)
副会長 小島 信男 (高17)
会会長 大貫 睦男 (高17)
副会会長 井萱 修巳 (高19)
副会会長 廣木 孝幸 (高19)
副会会長 杉岡 芳樹 (高21)
副会会長 石射 正英 (高24)
副会会長 八田 育子 (高24)
副会会長 石塚 修 (高28)
副会会長 新川 勉 (高30)
副会会長 武藤 俊宏 (高30)
監事 中戸川 達夫 (高18)
監事 伊東 一男 (高20)

【同窓会本部事務局】

- 事務局長 米山 和久 (高23)
事務局次長 志村 祐一 (高24)
事務局次長 松下 博俊 (高33)
会計 安藤 康恵 (高26)
会計 長田 靖子 (高33)

【理事】

- 1 小沼 富夫 (高29)
2 山口 薫 (高29)
3 成瀬 貞司 (高22)
4 岡崎 雄二 (高15)
5 三沢 賢一 (高21)
6 齋藤 昌代 (高26)
7 大貫 邦重 (高16)
8 八田 誠 (高36)
9 鶴指 眞澄 (高15)
10 石川 創一 (高18)
11 内野 喬 (高17)
12 足立 一彦 (高17)
13 大沢 弘 (高25)
14 大塚 定男 (高20)
15 平野 亮二 (高27)
16 劍持 典子 (高26)
17 小島 富司 (高18)
18 小淵 正志 (高18)
19 三橋 敬司 (高18)
20 小菅 和夫 (高19)
21 山田 和彦 (高24)
22 山本 智子 (高28)
23 高橋 昌和 (高27)
24 伏見 清 (高18)
25 中山 和男 (高26)
26 町山 良行 (高11)
27 伊藤 学 (高30)
28 阿部 洋 (高22)
29 真崎 和秋 (高22)
30 今井 雅裕 (高26)
31 石井 孝 (高28)
32 小川 均 (高22)
33 清水 隆敏 (高22)
34 泊瀬川 孚 (高14)
35 入澤 隆 (高16)
36 小菅 克典 (高29)

【各地区同窓会支部】

- 1. 伊勢原戸陵会
会長 三橋 要 (高21)
事務局長 齋藤 実 (高25)
2. 秦野戸陵会
会長 谷 茂 (高22)
事務局長 松永 光弘 (高24)
3. 津久井戸陵会
会長 菅野 敬子 (高18)
事務局長 成瀬 貞司 (高22)
4. 平塚戸陵会
会長 落合 重治 (高13)
幹事長 渡辺 兼行 (高19)

- 5. 相模原戸陵会
会長 金子 輝司 (高15)
事務局長 三沢 賢一 (高21)
6. 座間戸陵会
会長 大矢 政次 (高14)
事務局長 瀬戸 一幸 (高17)
7. 愛川戸陵会
会長 大貫 邦重 (高16)
幹事長 井上 隆 (高17)
8. 川崎市多摩麻生戸陵会
会長 町山 良行 (高11)
9. 綾瀬戸陵会
会長 見上 正信 (高23)
事務局長 八田 誠 (高36)
10. 海老名戸陵会
会長 三橋 正春 (高18)
事務局長 鶴指 眞澄 (高15)
11. 三浦半島戸陵会
会長 伊藤 学 (高30)
12. 大和戸陵会
会長 石川 創一 (高18)
事務局長 長田 靖子 (高33)
13. 藤沢戸陵会 (旧御所見)
会長 大貫 睦男 (高17)
事務局長 伊東 満 (高25)
14. 厚木連合戸陵会
会長 森久保純生 (高16)
幹事長 足立 一彦 (高17)
事務局長 大沢 弘 (高25)
① 厚木戸陵会
会長 橋本 和己 (高18)
事務局長 大沢 弘 (高25)
② 依知戸陵会
会長 大塚 定男 (高20)
事務局長 鈴木 正次 (高20)
③ 睦合戸陵会
会長 平野 亮二 (高27)
事務局長 中山 和男 (高26)
④ 荻野戸陵会
会長 伏見 清 (高18)
事務局長 土屋 忠之 (高22)
⑤ 小鮎戸陵会
会長 小島 富司 (高18)
事務局長 遠藤 美行 (高15)
⑥ 南毛利戸陵会
会長 小淵 正志 (高18)
事務局長 渡辺 和男 (高21)
⑦ 玉川・森の里戸陵会
会長 三橋 敬司 (高18)
事務局長 中山 博方 (高23)
⑧ 相川戸陵会
会長 小菅 和夫 (高19)
事務局長 小塩 恒夫 (高22)
15. 清川戸陵会
会長 山田 和彦 (高24)
事務局長 落合 秀夫 (高27)
16. 新潟戸陵会
会長 青木 茂治 (高9)
事務局長 齊藤 勝司 (高8)
17. 関西戸陵会
会長 齊藤 十内 (高16)
事務局長 福本 豊 (高28)
18. さくら戸陵会
会長 八田 育子 (高24)
事務局長 山本 智子 (高28)



http://www.atsukou-dousou.org

同窓会本部では、公式ホームページを開設しています。主な内容は次の通りです。
【同窓会概要】
本部役員紹介/会則/母校教育振興基金規定/活動活性化補助金交付要綱/会費についてなど
【学校の歴史・校歌】
治学の概要/県立第三中学校創立略史/同窓会の歴史など
【お知らせ】
同期会・O B会情報/バックナンバーなど
【総会報告】
総会資料/写真集など
【支部会のご案内】
各支部の活動報告など
【同窓会会報】
会報バックナンバー/各支部会報/部活O B会報など
動画や写真など、多彩な内容でお伝えしています。

同窓会ホームページのご案内

事務局便り

校内事務局スタッフ8名で
今年度は次の8名の人員で同窓会の校内役員としてご協力いただきました。
・事務局次長/谷田和久(高29回)
・事務局総務/菅井久男(高31回)
・会計=本部/壺井尚子(高37回)
・会計=部活動支援基金/内野秀明(高30回)
・同窓会名簿/谷田和久(高31回)
・校歌 祭/菅井久男(高31回)
・壺井尚子(高37回)
・大塚晃子(高53回)
・池田優太郎(高59回)

編集後記

●今年度の高校野球、感動のフィナーレが待っていた。東北108年目の悲願、仙台育英優勝、決勝13度目の正直、遂に白河の関越え、否応なく心揺さぶられる。さらに須江監督の熱いメッセージが追い打ちを掛ける。
●100年開開かなかった扉が開いた。コロナ禍、入学式どころか中学の卒業式もちゃんと出来なくて、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは違う。青春つてすごく密なので。そういうことが全部ダメだ、ダメだと言われて。活動しててもどこかでストップが掛かるとどこかでも止まってしまうような苦しい中で諦めないでやってくれた。本当に全ての高校生の努力のたまもの。全国の高校生に拍手してもらえたらと思います。(一)

2020-23年 広報委員会委員 (令和4年4月1日現在)

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 卒回, 所属戸陵会. Lists members of the Publicity Committee across various branches.

訂正とお詫び
会報第53号で、次の方々の原稿に記載ミスがありました。10ページ・伊勢原戸陵会・廣木孝幸様(廣木秀幸氏の誤り)、11ページ・座間戸陵会・加藤隆夫様(葛貫裕子氏の誤り)
この場をお借りして、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。